

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	Pさん		
所属	文学部・文学科・英語英米文学専攻		
留学先機関名	シドニー工科大学（国名：オーストラリア）		
留学先所属	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（国際関係学部） <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019年2月－2020年1月	留学開始時 学年	3年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>前期は、Australian Language and Culture という、オーストラリアについての文化や言葉を学ぶ授業を取っていました。また、IELTS 対策に特化した授業もあり、主にライティングのトレーニングを授業で行いました。</p> <p>後期は、International Studies という学部にも所属し、日本の社会問題や、様々な国の映画を鑑賞して国の社会的・文化的背景を学びました。またオーストラリアの自然についても学びました。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (6 月頃)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履修制限あり (18 単位～24 単位まで取れる) ・留学生専用のオリエンテーションあり ・ ・ <p><input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>UTS HELPS という、課題のサポートや英語力向上のサポートをするサービスがあり、平日毎日英会話クラスや、課題や勉強で分からないところがあったら気軽に質問できるブースがあった。</p> <p>大学の寮では、警備の人が常に寮におり、鍵を部屋に忘れて家に入れない時や何かトラブルが起こった時に対応してくれた。また大学寮主催の英会話クラスが週に一度あり、気軽に参加できる。英会話の先生が課題のレポートの添削をしてくれることもある。寮主催のイベントも数多くあり、友達作りに良い機会であると感じる。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証の発行を事前にオンラインで行い、オリエンテーションの日に大学の学生センターに行って学生証を受け取った。履修登録は、出国前にオンライン上で行った。後期の登録も、長期休みの間にオンライン上で履修登録を行った。大学 ID の設定については出国前にオンラインで行った。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>JASS という、日本人に興味がある外国人の学生と、日本人とで文化交流などを行うサークルに入っていた。自分は友人の紹介で入ったが、大学でサークル紹介イベントがあり、そのイベントに参加すれば、色々なサークルを知ることが出来る。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日		
7:00									
8:00	起床	起床	起床	起床	起床				
9:00	講義 ~10:00				講義	起床	起床		
10:00	授業の予習	買い物	授業の予習	買い物	講義~10:30	友達と外出	買い物		
11:00		洗濯	授業の予習		授業の予習	↓	洗濯		
12:00	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ	ランチ		ランチ		
13:00	授業	友達と外出	授業の予習	友達と外出	チュートリアル		勉強(課題など)		
14:00	授業	友達と外出	チュートリアル(授業)	友達と外出	チュートリアル~14:30		↓		
15:00	授業 ~16:00	友達と外出	チュートリアル(授業)	友達と外出	買い物				
16:00	授業の予習	友達と外出	チュートリアル(授業) ~16:00	ジム	勉強				
17:00		友達と外出			勉強				
18:00	夜ご飯	夜ご飯	夜ご飯	夜ご飯	夜ご飯				
19:00		授業の予習						夜ご飯	夜ご飯
20:00	勉強								
21:00	勉強		勉強	勉強				筋トレ	
22:00			勉強						
23:00			筋トレ						
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝			就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学を通して得られたことは、日本を客観的に見られるようになったことです。考えたことも無かったくらい日本で当たり前だったことが海外では当たり前では無く、日本に対する見方が変わったことが自分の中では大きな財産でした。また、最初は英語に苦手意識がある上に、話題が思い浮かばなくて異文化の人と会話を続けるのに苦労しました。しかし、たくさんの人と繰り返し喋ったり、外国人の友達の会話の仕方を観察したりしていくうちにだんだん慣れてきて、会話が楽しくなっていました。そのおかげで外国人と話すことが怖くなくなり、自分から積極的に話しかけられるようになりました。この積極性は、日本に帰っても活かされるものだと感じています。そして英語の環境にただいるだけでは英語力が伸びないと気づいたため、コツコツと英語の勉強に毎日取り組みました。そのおかげで英語力も伸び、コツコツ毎日努力するという継続力、忍耐力もこの留学によって身についたと感じています。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

UTS は留学生が多く、様々な国の学生さんと交流できる大学です。たくさんの人と交流して、たくさんの文化・価値観などを吸収することができるので、ぜひ自分から積極的に交流してほしいです。また、シドニー自体が多文化社会であるため、特に食べ物に関しては様々な国のものを食べることが出来ます。一つの都市で様々な国の雰囲気を感じられるのはとても良い経験で、日本では出来ないことなので、シドニー滞在中に、多文化社会を存分に楽しんでほしいと思います。しかし物価が高い都市であるので、住むのにお金がかかりかかります。食費を浮かせるのが一番効果的であると思うので、なるべく自炊をするなど小さなことでもコツコツ節約すると暮らしに余裕がでるのではないかなと思います。そして英語について、不安なことも多いと思いますが、大学には英語の勉強をサポートするセンターやプログラムが充実しているので、それらを最大限に活用しつつ、自学を進めていけば確実に英語力は伸びると思います。

留学を通しての感想

留学を通して、日本では出来ない、多くの経験をすることができました。また、日本中に、そして世界中に友達が出来たことは、自分の人生において、とても大きな財産であると感じています。留学当初は自分の力不足を痛感し、落ち込むことが多い日々でしたが、英語の勉強をしつつ、美しい景色や多様な価値観に触れながらシドニーで生活したことは、かけがえのない経験となりました。さらに素敵な友人に囲まれ、シドニーが大好きになり、自分にとって、海外の故郷となりました。約 10 ヶ月間、シドニーでの生活は大変なことも多くありましたが、長期間海外で生活出来たことは自分の中で大きな自信となりました。留学して改めて思ったことは、自分は一人では生きていけないということです。現地での友人、先生方、日本から応援してくれている家族・友人、大学のスタッフの方、多くの方々に支えられて留学生活を送ることができました。周りの方々への感謝の気持ちを忘れないと共に、これから留学経験者として、たくさん恩返しをし、自分から色んなことを発信できる人になりたいと思っています。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	Q さん		
所属	法学部 法学科		
留学先機関名	シドニー工科大学 （国名： オーストラリア ）		
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属（ 学部・研究科） <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019 年 2 月－ 2020 年 1 月	留学開始時 学年	3 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類(学生)	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input checked="" type="checkbox"/> 現地 場所(インターネット)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	<p>eVisa というサイトにてオンライン申請する。検索すれば申請方法の手順が出てくるのでそれに沿って入力する。問題なければ1日～2日で申請完了し、私の場合は2日後返信が来てビザ取得となった。</p> <p>GTE になにを書けば良いかわからず苦戦したが、ライティングの練習だと思って書けば大丈夫。</p>		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	<p>保険 (OSHC) ; この保険に入らないとオーストラリアの大学に留学できない。これがないとビザも申し込めない。大学への申し込み時に同時に申し込む</p> <p>入学許可証 COE: これがないとビザを申し込めない。</p>		
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 (語)		
勉強方法	<p>留学するために IELTS のスコアが必要だったので IELTS の対策を主に勉強した。熊大主催の IELTS 講座を受講し、苦手なスピーキングを伸ばしたかったが、やはり実践が乏しかったので、渡航してからのしか伸びなかった。</p>		
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	<p>ビザ申請、保険、寮の申し込み何をとっても慣れない英語のサイトで行わなければならなかったのも、普段はなんてことない作業でも理解出来ないところも多くあり、倍時間がかかった。前もって調べて取り掛かるべき。</p>		
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input checked="" type="checkbox"/> 授業料 現地の大学には払わず、熊大の留年分の授業料がかかった <input type="checkbox"/> 寮費 約10万 円/月 <input type="checkbox"/> 語学研修費 0 円 <input type="checkbox"/> 教材費 0 円 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請 5万 円 渡航費 (<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復) 10万 円 海外旅行保険料 5万 円 <input type="checkbox"/> その他 () 円		

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	JAPAN AIR LINE	手配	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	成田空港	到着時刻	7:30am 【※移動時間（約 12 時間）】
大学（寮）への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	寮を申し込んでいたら空港から寮までの無料シャトルバスが利用できる。出発前までに寮からバスの利用方法、乗車場所に関するメールが送られてくるのでそれを読む。カウンターがあるのでシドニー工科大学への留学生であることを証明する書類を提出する。バスに乗る前に両替と携帯の SIM カードの購入は済ませておくべき。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他（ ）	住居 手配	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ 前期は 6 人部屋、後期は 8 人部屋 ）	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他（ ）
住居の申込手順	大学からメールでお知らせが来て、オンラインで申し込み。早めに申し込まないと空き部屋が無くなる。		
住居でのトラブル および解決方法	カードキーを部屋の中に置いたまま外に出てしまい、入れなくなって締め出されたこと。風呂上がりだったのでずぶ濡れのまま寮の受付まで行き、予備のキーをもらった。（受付のスタッフによっては予備のキーを貸してくれるのに 5 ドル払わないといけなかったことがあるらしい） 寮に住むと、大学付属のジムが無料で使える。ルームメイトにジムのメンバーズカードを貸してしまい、以後出入り禁止になった。人に貸してはいけない、、、。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	徒歩		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 143000 円/月 （生活費内訳） 住居費：約 10 万 円/光熱費： 0 円/通学費：0 円 食費： 4 万円/通信費： 2000 円/書籍代： 円 その他：（ 洗濯 ） 400 円/一回（月に 2 回程度） ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円 （徴収された費用の名目：敷金 寮費の 2 週間分が初期費用としてかかった。退去時戻ってくる。 ）		

<p>その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)</p>	<p>保険について:UTS (シドニー工科大学) に留学するにあたって入ることが義務とされている現地の保険である OSHC は、実際に病院にかかっても料金の半分しか保険対象にならないので、キャッシュレスではないことに注意が必要。</p> <p>講座開設について:開設しなくても一年くらいは何の問題もないが、オーストラリアは別の銀行同士でもアプリ内で送金が簡単にできるため、友達と割り勘したい時やご飯を食べに行った時などに便利なので、開設するつもりがあるならなるべく早くするのがおすすめ。開設時は VISA とパスポートが必要。</p> <p>携帯電話について:空港に到着し次第 SIM カードを購入する。日本の携帯会社によっては出国前に SIM ロックを解除する必要があるため事前に調べておくべき。1 ヶ月に何 GB という購入の仕方があるので、毎月アプリで支払いをする。</p> <p>荷物について:シドニーは大都会でなんでも安く揃うので本当になにも持ってこなくて大丈夫。寮の近くにホームセンター、ショッピングセンター、スーパーマーケット、ダイソーなんでもある。炊飯器や調理器具、寝具も安く買える。支払い方法はキャッシュでもカードでも可。</p>
---	--

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>週に3回、毎3時間の授業を受講していた。3時間の中で最低一回は休憩が入るので長く感じなかった。全ての授業において数回のレポート、プレゼンで評価される。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 () </p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・2月末~1ヶ月間選択制のオリエンテーションがあった。そこで大学のこと、履修登録のこと、サークル活動、アルバイト、IELTSなど留学生に向けてたくさんのサポートを紹介される <input type="checkbox"/> 無し </p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>HELPS (語学面) : 毎週行われている留学生向けの英語での座談会。毎回テーマを決めて話し合う。英語力、コミュニケーション力の向上を目的としている</p> <p>UTS HOUSING RECEPTION (住居、日常生活) : YURA という寮にあるカウンター。ここに来れば寮のことは大抵解決する。鍵をなくした時、Wi-Fi のこと、洗濯など。毎日セキュリティ、サポーターが居る。(ホリデイを除く)</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証は渡航前にオンラインで申請する。申請方法は大学からメールが来るのでそれに従う。顔写真をメールで送付した。入寮後に指定の場所に取りに行く。寮の場合、学生証がないと洗濯ができない。</p> <p>私は渡航前にオンラインで、履修登録に関するメールに従って登録を済ませたが、オリエンテーションで登録方法を説明してもらえなかったため、現地で行っても間に合うと思う。</p> <p>大学 ID (学籍番号?) は大学からメールで知らせが来る。Wi-Fi パスワードにも大学のホームページに入る時にも必要なので控えておくべき。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>オリエンテーション期間中に、大学全体でサークル活動紹介のための大きなイベントがある。(0' day) 全てのサークル、クラブが集まるので見に行っても楽しそうな興味のあるサークルになんでも入るのがいいと思う。</p> <p>わたしが所属していたサークル↓</p> <p>JASS (Japanese and Australian students society) という日本人留学生と現地の学生のための留学生サークルがあり、日本に興味のある海外の学生と交流ができる。定期的に日本に関するイベントが開催される (書道、折り紙、運動会、映画鑑賞、日本語のク</p>

	<p>ラスを受け持つこともできる。など)</p> <p>日本の文化や日本語を発信できる機会になるかもしれないと参加していた。後期からは幹事の一員として参加した。</p> <p>ESAC 日本人に特化したものではない、全ての留学生のためのサークル。様々な国籍の留学生が交流するためのサークルで、こちらも定期的にイベントが開催されていた。(ランチ、ハイキング、ボードゲームなど)</p>
--	---

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床						
8:00			起床				
9:00	授業		課題			サークルのイベント	
10:00	授業		課題	起床		↓	起床
11:00	授業			課題		↓	バイト
12:00	授業			課題		↓	バイト
13:00			授業	課題		↓	バイト
14:00			授業				バイト
15:00			授業	授業			バイト
16:00			授業	授業			バイト
17:00				授業			
18:00		バイト		授業	ミーティング(サークルの)		
19:00	復習	バイト	復習		ミーティング	課題	バイト
20:00	復習	バイト	復習		ミーティング	課題	バイト
21:00	復習	バイト	復習		みんなでご飯	課題	バイト
22:00		バイト					バイト
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学前の英語の勉強が不十分だと感じたことは何度かあったが、それを後悔したことはなかった。日本で出来る勉強はしなくなかったのが一番重きを置いていた“英語を話す”ことを目標に、とにかくどこにでも飛び込んでみた。最初は心臓がドキドキして頑張れ頑張れ自分と何度も言い聞かせてやっとの思いで挑戦していたことも、だんだんと最初の一步が躊躇わずに出るようになった。何事も一步踏み出す勇気が、能力はなくても話したいという気持ち、一番大切なのだと、それを私は手に入れたんだと自信になった。人見知り、初対面の人とは特に緊張で思うように話せなかった自分が自分から話しかけていけるようになったことは留学で得ることができた財産だと思う。

また、語学とは関係のないことかもしれないが、縁あって現地のレストランでアルバイトをした経験も心の成長につながったと思う。アルバイトでさえ経験重視で採用するシドニーで、なんの経験もなかった私がキッチンで働いて、最初は肩身が狭く毎回行くのが憂鬱だったけれど、使える人間になる以外ここに私の居場所はないと思い頑張った。かなりストレス耐性がついたと思う。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

シドニー工科大学はシドニーのど真ん中に位置しており、オーストラリアの東京とも言える立地なので、日常生活を送る上で困ることはほぼない。観光客も多く治安も良いので住むには最高の場所だと言える。その反面勉強面では、たくさんの誘惑に溢れているので勉強だけに集中したい人には不向きとなる可能性もあるかもしれない。また、オーストラリアは多国籍文化で様々な国からの移民が多く、シドニーはそれをより強く感じられる都市だと他の地域を旅行して思った。あんなにも、一度にいろいろな国の人と知り合えるのはシドニーだけだ。

渡航前ビザ、寮、保険、学生証、携帯のこと、やるべきこと、調べておかなければならないことが山積みでしかも全て英語で、、、頭をかかえていたのを覚えている。誰かに聞いたらどんなに楽かと思っていたので、私で良ければいつでも聞いてください。これから留学に行く皆さん、これから絶対に特別な一年になるので、きついなと思うことがあっても充分寝て、しっかり食べてオーストラリアを満喫してください！

留学を通しての感想

留学で得た経験は私にとってかけがえのないものとなった。1年前留学せずにあのまま過ごしていたらと思うと怖いくらいにたくさんのことを見て経験して学んだ。

驚いたことの1つに、外国人は私が思っていたほど日本に興味がないというのがある。シドニーに行く前私はなんとなく日本って有名で世界でも人気があって、、なんて思っていた。それは間違いではなかったし、日本料理屋や漫画、日本文化を見かけたことも少なくなかったけれど、皆日本のことで知っていることと言えば東京大阪寿司くらいだ。留学前は日本のことを過大評価していたのかもしれない。日本を離れ、一歩離れて客観的に見てみることで日本の良いところも悪いところも見えた。日本人の人目を気にしすぎるところ、はっきりせずにどっちつかずな反応をしてしまうところは留学初期に私を困らせた。もしこう答えたらどう思われるかな、なんて余計なことを考えて自分の意見がはっきり言えないことも少なくなかった。この考え方を克服するには時間がかかったし、慣れていないことを異国の地で続けることはストレスだった。しかしこの経験がなかったらいつまでも私は自分が嫌だと感じてきた日本人のままだった。一年生の秋、留学に興味をもってくれた自分を褒めたい。ありがとう自分！！

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類(学生)	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()																												
必要書類、手続き 手続きに要した期間	入力内容を保存することができたため、ちょこちょこ進めていた。 すべての入力が終わってすぐにメールが来て手続きが完了した。 驚くほど速かったため少し不安になった。																														
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	OSHC オーストラリアでの健康保険 学校への手続き 大学寮への手続き																														
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 (語)																														
勉強方法	IELTS のスコアアップのための勉強。特にライティングが苦手だったため、知り合いのネイティブに添削を依頼していた。																														
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	大学が変更になり決まるのが遅かったため、とにかくどの手続きも時間がなく大変だった。																														
事前の必要経費 (留学前に必要な支払い費用) ※概算費用	<table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 授業料</td> <td>円</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 寮費</td> <td>1 か月分の家賃をデ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>POSIT 円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 語学研修費</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/> 教材費</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請</td> <td>45000 円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>渡航費 (<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復)</td> <td></td> <td></td> <td>6 万円</td> </tr> <tr> <td>海外旅行保険料</td> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> その他 ()</td> <td></td> <td></td> <td>円</td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input checked="" type="checkbox"/> 寮費	1 か月分の家賃をデ				POSIT 円	<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円	<input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請	45000 円			渡航費 (<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復)			6 万円	海外旅行保険料			円	<input type="checkbox"/> その他 ()			円
<input type="checkbox"/> 授業料	円	<input checked="" type="checkbox"/> 寮費	1 か月分の家賃をデ																												
			POSIT 円																												
<input type="checkbox"/> 語学研修費	円	<input type="checkbox"/> 教材費	円																												
<input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請	45000 円																														
渡航費 (<input checked="" type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復)			6 万円																												
海外旅行保険料			円																												
<input type="checkbox"/> その他 ()			円																												

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	キャセイパシフィック航空	手配	西日本旅行 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→香港→シドニー	到着時刻	2019/2/20 am9:00頃 【※移動時間（約17時間）】
大学（寮）への移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	<p>香港から飛行機に搭乗する列に並んだ際に突然渡航目的を聞かれ、ビザとパスポートを見せるように言われた。ビザもすぐに取り出せる場所にあった方が良かったと感じた。</p> <p>シドニーに着いて入国審査等もろもろが終わって出てきた場所の近くにデスクがあって、そこに UTS の学生であることを伝えると CoE の提示を求められる。そこで UTS へのシャトルバスの手配をしてもらえる。1時間に1～2本ほどバスが出ているようだった。</p>		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で <input type="checkbox"/> その他（ ）
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他（6人シェア）	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の申込手順	<p>大学の寮を希望するのであれば、大学への申請が終わったらなるべく早く UTS Housing で寮の申請をした方がよい。</p> <p>希望の寮に入れなかったとしても7月ごろまた第2セメスターの入寮の応募が始まるため、変更ができる。1年間の契約ではなくとりあえず半年で契約しておく、何も問題がなければ続行、またはもっと安い家賃の寮に移る or 部屋を変えるなどの選択も可能になるため半年間の契約が賢いのではないかと個人的に思った。</p> <p>Yura はセントラル駅や多くの UTS の建物にとっても近く便利だが家賃がとてとても高い。この寮が最も大きく最も多くの学生が住んでいる、ダーリングハーバーまで徒歩10分。Gumal はほんの少しだけセントラル駅や大学から離れるが、ブロードウェイショッピングセンターが近くにあり便利。Bulga は Yura と Gumal の間あたりに位置する。寮の規模があまり大きくないため、寮内で友達ができやすいらしい。Geegal は Redfern 駅に近く、UTS よりもむしろシドニー大学のほうが近いと友人が嘆いていた。この寮が一番規模の小さい寮で、寮内ほぼみんな知り合いみたいな感じになるそう。寮費は Geegal が一番安い。</p> <p>複数人のシェアルームを選択するときは男女ミックスか女性（男性）のみの部屋かの希望を出すことができる。</p>		
住居でのトラブルおよび解決方法	<p>特にトラブル等はなかったが、積極的にコミュニケーションをとって誤解やすれちがいをできるだけなくそうという雰囲気は私の部屋にはあってとても良かった。何かものを借りたり、共有スペースのものを使うときは全員に声をかけていた。</p>		

大学への交通手段 <small>(※費用がかかれば費用も)</small>	徒歩
生活費および内訳 <small>(概算を円換算)</small>	<p>生活費計 13万円／月</p> <p>(生活費内訳)</p> <p>住居費：9万円／光熱費：住居費に含まれる／通学費：0円</p> <p>食費：3万5000円／通信費： 2200円／書籍代：0円</p> <p>その他：() 円</p> <p>※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円</p> <p>(徴収された費用の名目：)</p>
その他生活に必要な 手続き、アドバイス <small>(口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)</small>	<p>携帯はだいたいみんなプリペイド SIM を買っていた。私の使っていた Optus は 28 日で 10G で \$30 だった。</p> <p>銀行は Commonwealth は学生だと維持費みたいなのがかからない。携帯のアプリから友達と割り勘したときの送金ができたりして便利だから早い段階で開設したほうがいいかもしれない。口座開設の時はビザとパスポートが必要。帰国時に荷物を送るなら cube it でスーツケースを送るのが安い。</p>

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム) の概要について</p>	<p>オーストラリアの歴史や自然、社会などを映画やまちなみなど 様々な観点からみていく授業。オーストラリアだけでなく世界的 な課題についても考える。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、 留学生専用のオリエ ンテーション、チュ ーター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り(具体的には以下のとおり) ・ UTS HELPS 主に writing の添削等してくれる。Conversation の クラスやバディプログラムもある。 ・ ・ ・ <input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポ ート体制について (語学面/学校生活/ 住居・日常生活等)</p>	<p>語学面については HELPS でサポートが受けられる。学校生活につ いては Building1 にオレンジ色の T シャツを着た学生がいて、キ ャンパスの場所など教えてくれる。日常生活では寮は各階に RN と いう代表の学生がおり、部屋内のルールづくりの手助けや階での ミーティングやレク、寮の行事の運営をしてくれる。</p>
<p>留学開始後に行った 留学先大学の手続き (学生証、履修登録、 大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証の写真がパスポートの写真と一緒だとダメらしく、写真の 許可が下りるのに時間がかかる。大学寮に入るなら consensus matters のテストを必ず満点でクリアしないとイケない。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、イ ンターン、フィールド ワーク等) ※どうやって探したか、 どのような活動か、入る きっかけなども具体的に</p>	<p>JASS と ESAC に入っていた。0' DAY という二月下旬にある熊大で 言うくまナビのようなものでサークルがブースをだして説明をし てくれる。JASS は日本人と日本に興味があるそのほかの国の学生 のサークル。ESAC は交換留学生と国内学生のサークル。(熊大で言 う C3 に近い)ESAC でも希望すればバディがついてくれる。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00			起床				
8:00	起床	起床	朝食、身支度	起床	起床	起床	起床
9:00	朝食、身支度	朝食、身支度	授業	朝食、身支度	朝食、身支度	朝食、身支度	朝食、身支度
10:00	授業準備	バイト			パティと会う	外出	
11:00							
12:00				昼食			バイト
13:00	昼食		昼食	授業	昼食	昼食	
14:00	授業						
15:00							
16:00			JASS 日本語 クラス				
17:00		夕食			バイト	バイト	買い物
18:00	夕食	授業準備	夕食	夕食			
19:00	日本語クラ ス準備		授業準備				
20:00				日本語クラ ス準備			夕食
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

これまでは自分にとって不快なものや違和感を覚えるものからは極力距離を置くようにしていがちだったが、なぜその物事や人に対してそのように思ってしまうのか一度考えてるようになった。これにより、自分にとって嫌なものを避けるのではなくもっとほかのかかわり方に関わるようになったり、決めつけたりすることが減った。また、わからないことや疑問に思ったことを素直に口に出せるようになった。友人たちとのかかわりを通して、相手の意見を受け入れながら自分の意見をうまく主張することの大切さを学んだ。アルバイトでは相手をリスペクトするということが人間関係の根底にあることを体感した。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

様々な国からの留学生がやってきているため、世界各国に友達ができる。もちろんその人たちと仲良くするのも大切だが、オーストラリアの友人をつくと生活の困ったことを助けてもらうことができたり、一緒に遊びにつれていってくれたりするからぜひオーストラリア人の友人をつくることもチャレンジしてもらいたい。また、シドニーという土地に大学があるということを生かして、大学外のイベントにも参加してもらいたい。1年間という限られた時間であるため、やりたいとおもったことは全て挑戦してみたほうが良いと思う。

ダイソーや無印良品、ユニクロ、その他アジア系のマーケットですこし割高だが食品を含む日本製品は手に入るため、無理して日本から持ってくる必要はない。ただ、醤油は九州の醤油が無くて、味の違いに驚いたため醤油にこだわりがあるなら持参してもいいかもしれないと個人的にはおもった。

留学を通しての感想

まず第一にととても有意義で充実した一年間を過ごさせてもらったことに心から感謝をしている。多くの素敵な友人に恵まれ、今回の留学での収穫の一つはこのすてきな友人たちであるだろう。また、今回の留学を通して心に余裕ができ、日々を楽しむことを知ったり、自分と異なることを受け入れることが今までより容易にできるようになった。何か大きな困難を乗り越えた、というよりはひたすら笑顔で過ごした日々だった。

日本を外から見たことで、また日本ではない国の人と話すことで日本の良さを改めて確認することができたり、また反対に疑問に思う点も出てきたりした。今回の留学中では日本人だということを明かすと概ね好意的な反応をもらったのだが、これはこれまでの先人たちのおかげであったり、日本の文化のおかげであるから、今後も日本に対してポジティブなイメージを持ってもらうためには個人の非常に小さな力だが、何事にもどんな人に対しても真摯にそして恥ずかしくないような振る舞いをしていかななくてはならないのではないかと考えることもあった。この経験を今後多くのほかの学生にも体験してもらいたいと強く考えるし、また今後どのように今回の経験を活かしていくかが大切になるので、今後も精力的に活動していきたい。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	S さん		
所属	文 学部・大学院 文 学科・専攻		
留学先機関名	シドニー工科大学 (国名:オーストラリア)		
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019年 2 月 - 2019年 12 月	留学開始時 学年	3 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	ANA	手配	エアトリ ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	直行	到着時刻	【※移動時間（約 時間）】
大学（寮）への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関（ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	大学手配の出迎えだったため特になし		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他（ ）	住居 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他（ ）
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他（ 4人部屋 ）	ルーム メイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他（ ）
住居の申込手順	留学先が決まって一か月以内くらいに寮の申請をメールで行う必要がありました。		
住居でのトラブル および解決方法	トラブルは特にありませんでしたが大学の寮費が予想していたものよりはるかに高かったです。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	0円		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 4万 円/月 (生活費内訳) 住居費： 円/光熱費： 円/通学費： 0 円 食費： 4万 円/通信費： 円/書籍代0(授業による) 円 その他：() 円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 円 (徴収された費用の名目：)		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	口座を開設する時、私の場合はオンラインで口座開設の申請をした後銀行に行きました。その方がスムーズに開設できるとのことでした。携帯電話はSIMカードを空港で買って月々一定金額をクレジットカードで払っていました。		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>前半の1タームは留学生専用の授業を週3で受けました。その中で IELTS を再度受験し、後半は学部の授業を受けました。自分が受けた授業を3つ選んで授業登録して受講するという形態でした。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・ IELTS 点数制限 ・ インターナショナル生・留学生向けのオリエンテーション ・ ・ <input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>語学面では、UTSHELPS という機関が大学の中にあって、そこで英会話クラスを始め課題の添削・構成相談等、英語にまつわるサポートが充実していました。住居については平日はスタッフが、また夜間や休日は寮の警備員がいたので困ったことがあればすぐに相談し解決することが出来ました。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証は予めオンラインで必要事項を記入・申請し、学校ではカードを受け取るだけでした。履修登録は、前期分は渡航前に、後期分は前期が終了して2週間くらいで申請しました。大学 ID は渡航前に必要な手続きをオンラインで終えておくように指示されました。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>サークルは日本とオーストラリアの交流サークルのようなものに入っていました。留学先に着いて1、2週間後にサークル紹介の“0-Day”が開かれていてそこで知りました。部活動に入ろうと思っていたのですが、部活動は“0-Day”より前に部活動体験があっっていてそれを完全に逃し入るタイミングを失ってしまいました。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00				アルバイト	アルバイト	アルバイト	アルバイト
8:00				アルバイト	アルバイト	アルバイト	アルバイト
9:00	授業			アルバイト	アルバイト	アルバイト	アルバイト
10:00	授業			アルバイト	アルバイト	アルバイト	アルバイト
11:00	授業			アルバイト	アルバイト	アルバイト	アルバイト
12:00	授業		日本語クラス			アルバイト	アルバイト
13:00			日本語クラス			アルバイト	アルバイト
14:00			授業				
15:00			授業		日本クラブ		
16:00		授業	授業				
17:00		授業					
18:00	授業	授業					
19:00	授業						
20:00	授業						
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学によって、自分で行動を起こす力が身に付いたのかなと思います。以前は誰かと一緒にないと行動が出来ませんでした。アルバイトを自ら探しレジュメを渡す、自分の好きな場所や活動を自分で調べて訪問するなど、行動を起こす前の葛藤時間が少なくなったように思います。行動を起こす力以外にも、リサーチ力、思い切り力が主に身に着いたように感じます。

また、英語を使ってたくさんの方とお話する楽しさを思い出したように感じます。大学に入学してから英語とは全く無縁の生活を送っていたのでその気持ちを忘れていましたが、英語を使って人と話して、自分の知らなかった情報を得たり、景色を見たりすることが楽しかったです。日本語英語問わず、以前より人に話しかけることも増え、以前よりほんの少し社交的になったように思います。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

まず自分が必要書類や手続き等を後回しにしてしまう傾向があり、それでいつもあたふたしていたので、やらなければならないことは早めに終わらせることが大切だと思います。交換留学生専用の事務の窓口は朝昼合わせて4時間ほどしか開いていないし、授業登録も自分の取得したい授業が多ければ抽選になり、落ちればまた選びなおさなければならないので早めに取り掛かって損はないと思います。

また渡航前に英語の勉強をもっとするべきだったなと感じています。まず学部で授業を受けるまでにIELTSで一定の点数が要るし、もっと自分の英語力がはじめに高かったなら伸びる幅も大きくなるし、会話も出来たのではないかと思います。

最後に、留学先で何か目標や達成したいこと、またやってみたいこと等を予め考えて自分で留学計画を立てておくのは大切かなと思いました。私自身何をすればいいのか分からなくなった時期がありその時期は正直スランプ気味でした。

留学を通しての感想

留学全体を振り返ってみて一番に言えることは、留学に行ってもよかったということです。以前より自分に自信がついたように思います。以前の自分は心配性で、他人と比べて自分が劣っている等、自己否定をする傾向にありましたが、オーストラリアの「どうにかなるさ」といった余裕のある価値観や考え方、風潮が自分に良い影響を与えてくれ、何にでも気負いすぎずに挑戦できるようになりました。その為自分に自信も少しついたのかなと思います。

また留学を経験して自分の得意・苦手なことがよくわかった気がします。これらは就活時の自己分析のみならず将来にも活かせるかなとも思うので、自分の不足している部分は改善できるように、良い部分はもっとよく出来るようにこれから意識して生活していきたいと思います。

また機会があれば就職する前に短期でも海外に行きたいなと思っています。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	Tさん		
所属	文 学部・大学院 文 学科・専攻		
留学先機関名	シドニー工科大学 (国名：オーストラリア)		
留学先所属	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (学部・研究科) <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019年 2月 - 2019年 12月	留学開始時 学年	4 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		

1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類(学生ビザ)	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所(ネット上)
必要書類、手続き 手続きに要した期間	ビザ申請の際、オーストラリアに行く目的、どのように暮らすのか、経済面はどうするのかについて英語の文章を作成し、提出しなければならなかった部分が少し大変でした。また、申請してからビザが下りるまで1週間程度かかりました。		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	OSHC だけでは補えない部分の海外保険への加入が必要でした。		
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他 (語)		
勉強方法	IELTS のスコア獲得が必要だったので主に IELTS の対策をしました。自分でテキストを購入し、そのテキストを勉強していました。		
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	授業選択やコース選択、また寮の決定とその支払い方法についてのやり取りが予想以上に大変でした。現地のスタッフの方とメールでのやり取りなので、同じ大学に行く友人と確認しながら手続きを進めました。		
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input checked="" type="checkbox"/> 授業料 56 万円 (熊大授業料) <input checked="" type="checkbox"/> 寮費 150 万 円 <input type="checkbox"/> 語学研修費 円 <input type="checkbox"/> 教材費 円 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請 5 万 円 渡航費 (<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 18 万円 <input checked="" type="checkbox"/> 海外旅行保険料 20 万円 <input type="checkbox"/> その他 () 円		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>前期と後期で違うカリキュラムを受講しました。前期は Australian Language Course といい、オーストラリアの文化を含めながら英語を主に勉強するコースでした。後期は学部の授業を選択し、情報システム、グローバルシネマ、アカデミックイングリッシュという授業を受けていました。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・留学生用オリエンテーション ・ ・ <input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>UTS HELPS という大学運営の組織があり、無料で会話のクラスに参加したり、バディプログラムという英語を練習するために現地のボランティアの学生と一対一で話せる機会を持てたりしました。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)</p>	<p>学生証に関しては出来上がっているものを取りに行く形だったので特に手続きはしてないです。 前期の履修登録、大学の ID 設定はネットを使い出発前に行いました。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>JASS という日本に興味を持つ現地の学生と日本人の留学生が交流するサークルに所属していました。私は友人の紹介でこのサークルに入りました。 また、アルバイトを郊外のカフェでしていました。このアルバイト先は中国人オーナーの経営するカフェです。友人の紹介により始めました。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00					授業		
10:00		勉強	勉強		授業		
11:00		勉強	勉強		勉強	勉強	勉強
12:00						勉強	勉強
13:00	授業				授業		
14:00	授業				授業		アルバイト
15:00	授業		アルバイト				〃
16:00		授業	〃	勉強			〃
17:00		授業	〃	勉強			〃
18:00			〃				〃
19:00	授業	ダンス	〃				〃
20:00	授業		〃				〃
21:00			アルバイト				アルバイト
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

今までは海外の人に話しかけるということに自分の中ですごく抵抗がありました。しかし、大学での授業、海外の友人を持てたことやアルバイトをしたことなどから自分に自信を持つことができ、留学前と比べると、恐れずに自分から動くことができるようになったと思います。でももっと積極的に動けばよかったという部分もあり、少し後悔もあるのでこれからはもう少し積極的に行動していきたいです。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関する事、生活全般に関する事など自由に記載してください）

シドニー工科大学は多文化国家のオーストラリアにあるという事で様々な国から留学に来ている学生が多くいました。そして授業の中でもいろいろな文化に触れることができました。しかし、前期で受講していた ALAC のコースではほとんどの学生が日本人だったのでその授業は日本で受けているような感覚がありました。そのため、前期からも学部での授業が受けられるよう渡航前にもっと IELTS のスコアを上げておくべきだったと思います。

大学に関しては、設備が充実しており、24 時間開放されている建物があったりと勉強しやすい環境がたくさんありました。また、シドニー工科大学の学生の勉強熱心な姿に刺激を受けることも多くあったことが印象的です。

留学を通しての感想

この留学は決して楽しいことばかりではなかったですが、全体として自分を大きく成長させることができた留学になったと思います。多文化社会といわれるオーストラリアでの様々な国の人と関わることもできた生活は、自分のことを改めて見つめなおす機会になりました。また、オーストラリアに来なければ気が付かなかった日本、日本人の良い部分、逆に悪い部分にも気が付くことができました。これからはもっと改善していかなければならないこと、継続していかなければならないこともわかり英語という語学だけではないことを得られたのが自分にとって大きなことでした。そして新たに勉強したいこと自分の目標が見つかり、これからの勉強へのモチベーションも上がりました。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

氏名	U さん		
所属	文 学部・大学院 文 学科・専攻		
留学先機関名	シドニー工科大学 (国名：オーストラリア)		
留学先所属	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科に所属 (インターナショナル学部・研究科) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず、様々な学部等の授業を履修 <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019 年 2 月 - 2019 年 12 月	留学開始時 学年	4 年次
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 種類（ 学生ビザ ）	ビザ申請先	<input checked="" type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所（インターネット ）
必要書類、手続き 手続きに要した期間	パスポート、クレジットカード、海外留學生健康保険（OSHC）、入学許可証 約1か月		
ビザ申請以外で 必要な事前手続き	海外留學生保険の加入、大学寮の申請、日本の携帯会社でのスマートフォンの契約確認		
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他（ 語）		
勉強方法	IELTSの勉強が語学の勉強に直接つながったと思います。また、隙間時間に英語で映画を観たり、海外のニュース映像を観たりしました。		
留学先の手続き (必要書類、大変だったこと、どのように取り組んだか等)	寮の手続きやその他の手続きすべてが英語だったため、時間がかかりました。そのため、同じ大学に留学する友人と確認しあっていました。また、重要なメールを見落とさないようにメールの確認をこまめにしていました。		
事前の必要経費 (留学前に必要な 支払い費用) ※概算費用	<input type="checkbox"/> 授業料 円 <input checked="" type="checkbox"/> 寮費 120 万円 <input type="checkbox"/> 語学研修費 円 <input type="checkbox"/> 教材費 円 <input checked="" type="checkbox"/> ビザ申請 4 万 3000 円 渡航費（ <input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復） 13 万円 海外旅行保険料 3 万円 <input type="checkbox"/> その他（ ） 円		

2. 渡航～到着時の生活について

利用航空会社	ANA	手配	エアトリ ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→羽田空港→シドニー空港	到着時刻	午前10時 【※移動時間(約12時間)】
大学(寮)への移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関(<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する際の注意点 行き方、料金等	学校の無料シャトルバスがあったので簡単でした。		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート その他()	住居手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 その他(6人部屋)	ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
住居の申込手順	大学の寮の申し込みページからインターネットで申し込み		
住居でのトラブル および解決方法	ルームメイトとの大きなトラブルはありませんでしたが、小さなトラブルは話し合ったり SNS でメッセージを送ったりして解決しました。		
大学への交通手段 (※費用がかかれば費用も)	徒歩		
生活費および内訳 (概算を円換算)	生活費計 12万円/月 (生活費内訳) 住居費： 9万円/光熱費： 0円/通学費： 0円 食費： 1万5000円/通信費： 0円/書籍代： 0円 その他：(生活必需品・交際費) 1万5000円 ※学費・寮費以外に留学先大学へ納入するもの： 0円 (徴収された費用の名目：)		
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	銀行口座は日本からのお金の送金の時などにも必要になるので、留学先に着いたら開設した方がいいと思います。私の場合はパスポートを持参したら簡単に開設することができました。携帯電話は、日本で使っていたスマートフォンをシムフリーにして持っていき、現地でシムカードを買いました。日常生活ではほとんどクレジットカードを使っていましたが、友人と食事をして代金を分けて支払う時などに現金が必要でした。		

3. 留学先の大学について

<p>授業(カリキュラム)の概要について</p>	<p>授業は週に3日(3科目)で、1科目3時間でした。留学生が英語を学ぶためのクラスで、オーストラリアの文化や環境問題などのトピックを使ってライティングの練習やプレゼンテーションを行いました。</p>
<p>履修登録の時期 登録方法</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 渡航前 <input type="checkbox"/> 渡航後 ⇒ (月頃) <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 志願書類の提出 <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>留学生特例措置 (履修制限、優先措置、留学生専用のオリエンテーション、チューター制度等)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り (具体的には以下のとおり) ・留学生専用のオリエンテーション ・ ・ <input type="checkbox"/> 無し</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)</p>	<p>大学では、留学生のための自由に参加できる英会話クラスがありました。ボランティアの先生と5~10人ほどの学生で話したいことを自由に話すアットホームな雰囲気のあるクラスでした。そのほかにもボランティアの現地学生と一対一で英会話の練習ができる制度もありました。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)</p>	<p>学生証を取りに国際教育課のようなところに行きました。</p>
<p>授業外活動について (サークル、部活、インターン、フィールドワーク等) ※どうやって探したか、どのような活動か、入るきっかけなども具体的に</p>	<p>日本とオーストラリアの交流サークルに加入しました。日本人の友人に誘われ、加入を決めました。サークルには日本文化に興味のあるオーストラリアの学生や様々な国からの留学生が所属しており、日本文化を体験したり、日本語クラスや英語クラスもあり、互いに言語や文化を学びあうことのできるサークルでした。</p>

4. 一週間のスケジュールについて

(授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください)

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00			授業				
10:00			授業				サークル
11:00			授業				サークル
12:00							サークル
13:00					授業		
14:00	英会話クラス	英会話クラス			授業	勉強	
15:00					授業	勉強	勉強
16:00		英会話練習		授業		勉強	勉強
17:00	洗濯等家事			授業			勉強
18:00				授業			
19:00							
20:00							
21:00						洗濯等家事	洗濯等家事
22:00							
23:00							
24:00							

5. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学前は、自分の英語力に自信がなく、できるだけ英語で話したくないと思っていましたが、留学を通して、間違ってもいいから話してみることが大切だと感じるようになりました。シドニー工科大学には様々な国からの留学生がおり、皆それぞれの国特有の英語のアクセントを持っていました。それを知ってから、英語を使うことに以前ほど抵抗がなくなり、英語力の向上につながりました。また、完璧な英語ではなくても失敗を怖がらずに話してみるというチャレンジ精神や度胸が身についたと思います。

様々な国の人と交流したことにより、日本で当たり前だと思っていたことが当たり前ではないということや、日本の良さや良くない点にも気が付き、自分の視野がとても広がったように感じます。

また、英文を読む速度が速くなったことやリスニング力向上のおかげで TOEIC のスコアが飛躍的に向上しました。

同じ大学へ留学を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

シドニー工科大学にはたくさんの留学生がいるため、語学の勉強をサポートしてくれるプログラムが充実していると思います。また、建物も新しく、とても広いので、勉強のモチベーションが維持できました。シドニーの中心地に位置しているため、物価は高いですがとても便利に生活ができます。

寮の家賃はとても高いですが、セキュリティがしっかりしており、学校にも近いため、おすすめです。また、寮では英会話のクラスなどのイベントも開催されていて、英語を学びながら新しい友人を作るには最適だと思います。

工科大学という名前ですが、十分に英語を学ぶ施設や環境も整っているので、様々な国の人と交流し、様々な文化を学びながら英語も勉強したいと思っている人にはとても良い大学だと思います。

留学を通しての感想

約 10 か月間の留学生活を通して、日本では体験できない貴重なことをたくさん体験することができました。英語力の向上はもちろんのこと、今まで知らなかった国の文化や人々の考え方に触れ、自分の考え方や常識がすべて正しいわけではないということに気が付き、違う意見を受け入れることができるようになりました。

10 か月間は、長いようで本当にあっという間に過ぎていきました。初めは日本に帰りたかったこともありましたが、英語やオーストラリアでの生活に徐々に慣れていきました。慣れてきたと思ったら日本に帰国する時期になっていたのもオーストラリアを離れるのが名残惜しかったです。

留学をしていなかったら出会うこともなかった友人達や、見ることのできなかった風景、学ぶことのできなかったであろうオーストラリアの文化や環境問題など、留学を通して多くのものを得ました。これらの思い出を忘れずに、残りの大学生活や就職活動、その後の社会人生活に役立てていきたいと思っています。